

2016年2月日本建築学会東北支部役員会議事録（案）

日時：平成28年2月24日（水）15：00～16：50
会場：日本建築学会東北支部
出席者：源栄・有川・高橋・小林・手島・川村・福屋・藤田・濱口・伊藤/瀧（事務局）
Skype出席者：永井・パリーク・苅谷・齋藤・宮腰
欠席：志賀

1. 前回議事録の確認

- ・高橋常議員が11月支部役員会議事録【資料1】を読み上げ、内容の確認を行い、議事録として承認された。
- ・みちのくの風2016宮城の計画系招待講演者について、工学院大学の後藤治先生に「高齢化・少子化時代の歴史文化遺産の継承」と題してお願いすることになった旨の報告があった。

2. 報告事項

- 1) 1月理事会報告
 - ・源栄支部長が【資料2】に基づいて報告を行った。
 - ・他団体への防災連携委員の推薦について、支部活動報告会の開催について、「優秀卒業論文賞」・「優秀修士論文賞」の応募周知について、「大崎市田尻総合支所」の保存活用に関する要望書提出について、東日本大震災5周年シンポジウムの開催について等の話題が報告された。
- 2) 10月・11月・12月・1月会計報告
 - ・事務局が志賀常議員に代わって【資料3】に基づいて報告を行った。
 - ・10月の主な支出は建築作品発表会の印刷・旅費、11月の主な支出は東北建築賞の審査旅費であること等が説明された。
 - ・東北支部の会員確保につとめ、代議員割り当て数に關係する会員数1,200を下回らないよう監視対応する必要があるとの意見があった。
- 3) 2016年度支部研究補助費申請報告
 - ・事務局が【資料4】に基づいて報告を行った。
 - ・研究題目：「震災復興の総括ならびに生活再建に関する調査研究」として申請した。
- 4) 第36回東北建築賞作品賞の選考報告
 - ・小林常議員が【資料5】に基づいて報告を行った。
 - ・締切日の西暦「2015年」→「2016年」に修正するよう意見があった。
 - ・賞の内規については後段の審議事項において審議することになった。
- 5) 鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準講習会について
 - ・事務局が【資料6】に基づいて報告を行った。
 - ・4月の東京の講習会は定員に達したため、5月に追加講習会を予定している旨の報告があった。
 - ・上部構造だけでなく基礎構造の新たな規準策定が待たれる旨の意見があった。
- 6) 共催依頼・協賛依頼・後援依頼承認報告
 - ・事務局が【資料7】に基づいて報告を行った。
 - ・「第1回次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス」「平成28年日本建築構造技術者協会（JSCA）東北支部新年記念講演会」「みやぎボイス2016ーこれまでの復興・これからの私たちの社会ー」「第44回秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール」「住まいと環境 東北フォーラム公開シンポジウム」について共催・協賛・後援依頼があった旨の報告があった。
- 7) 創立130周年記念事業市民向け・支部関連企画について
 - ・事務局が【資料8】に基づいて報告を行った。
 - ・“新規”に130周年記念事業を企画する場合は5万円を本部に予算として申請できるが、新規企画でない場合は予算申請できない旨の報告があった。
- 8) 大崎市田尻総合支所（旧田尻町役場）保存要望書の提出報告
 - ・事務局が【資料9】に基づいて、要望書を提出した旨の報告を行った。
- 9) 支部年報36号の原稿執筆依頼報告
 - ・事務局が上記の内容について報告を行った。
- 10) その他
 - ・特になし

3. 審議事項

- 1) みちのくの風 2016 宮城について
 - ・有川常議員・高橋常議員から【資料 10】に基づいて説明があった。
 - ・会場割り当ては確定した。
 - ・計画系の招待講演が工学院大学の後藤治先生に決まった。題目の「小子化」→「少子化」に修正する。
 - ・懇親会の乾杯のご発声を石田先生（次年度・東北大 都市・建築学専攻長）にお願いする，パネル展示のレイアウト案策定は手島常議員にお願いする，会長のお迎え役（6月18日（土）10時頃，新幹線で仙台駅に到着）を後で決定することになった。
- 2) 2016 年度支部総会の付随行事について
 - ・手島常議員から【資料 11】に基づいて説明があった。
 - ・シンポジウムのテーマが「震災復興の変遷～これまでの震災復興で、乗り越えてきたこと、これから乗り越えるべきこと～」となった旨の報告があった。
 - ・見過ごされてきた課題はないか，多くの専門家が集う団体であることの特徴を活かし多面的に・シームレスに震災復興をとらえられるシンポジウムにしたいとの意見があった。
 - ・表彰式に関連して，名誉会員に吉野博先生を推挙する旨の報告があった。
- 3) 2016 年度「建築文化事業」開催について
 - ・事務局から【資料 12】に基づいて説明があった。
 - ・「親と子の都市と建築講座 2016」の講師謝礼（3 万円／講座：2 講座まで）は本部で予算化される。
 - ・「建築文化週間 2016」の支部企画について，企画案を出していただけそうな部会に発案を打診してみるなどの手順について検討する。
- 4) 東北建築賞作品賞・研究奨励賞の内規と募集要項改正について
 - ・小林常議員から【資料 13】に基づいて説明があった。
 - ・単体ではない作品群（プロジェクト）としての申請をどう扱うか。
 - 「作品賞」として作品群の申請を受け付ける／受け付けないは，都度議論をしながら判断してきたが現状明確なルールがない。プロジェクトの成否は時間経過を経ないと判断できない可能性もあるが，専門家が時間経過による結果を想像しながらプロジェクトの良否を判断することも可能。
 - 「業績賞」のカテゴリーは長年の活動に対してという意味合いがあるので適当でない。
 - 「プロジェクト賞」の創設も一案であるが，毎年申請されるかという疑問もある。
 - 新たな賞を創設するか／運用内規で対応するかなどの具体策を 3 月役員会（遅くとも 4 月総務会）までに策定する。
- 5) 支部常議員選挙における欠員補充に関する支部選挙細則の変更について
 - ・事務局から【資料 14】に基づいて説明があった。
 - ・支部常議員の欠員補充ができない場合の対応内規（至近の選挙まで欠員のままとする）を全支部共通としたい旨の本部案が提示され，承認された。
- 6) 秋田県立大学からの後援依頼について
 - ・事務局から【資料 15】に基づいて説明があった。
 - ・「秋田県立大学 全国高校生建築提案コンテスト 2016」の後援依頼について承認された。
- 7) 支部ホームページについて
 - ・宮腰常議員・藤田常議員から【資料 16】に基づいて説明があった。
 - ・仕様書（記事構成・更新頻度などの概要）が決まらないと相見積が取れないが，相見積をとらずに 1 社随意契約だと問題になる可能性がある。
 - ・本部および他支部の対応も参考にした方がよい。
 - ・次回役員会までに仕様書について作成する。
- 8) その他
 - ・次期体制への引継ぎ等（大会運営，秋田県立大の役割）について，4 月総務会後に時間を設ける。

今後の予定

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| ・支部研プログラム編集 | 3 月 25 日（金） | 13：00～15：00 |
| ・3 月支部役員会 | 3 月 29 日（木） | 15：00～17：00 |
| ・4 月総務会 | 4 月 日（ ） | ： ～ ： |
| ・選挙管理委員会 | 4 月総務会と同日 | （委員は印鑑持参） |
| ・5 月支部役員会・総会 | 5 月 21 日（土） | 10：30～17：00 |